

N O	頁	事業コード	事業名	担当課	質問内容	メモ
1	13	1-1-1	広報推進事業	シティセールス広報課	SNSやLINEの登録者数が目標を達成していますが、市民の暮らしに役立つ情報が実際にどの程度届いているのかを把握するため、閲覧状況や反応、事業参加や相談利用につながった状況などの分析は行っていますか。また、分析を行われている場合は、その結果を踏まえて改善した事例がありましたら教えてください。さらに、今後、必要な方へ情報が届くよう、どのような工夫を考えていますか。	
2	14	1-1-2	自治振興事業	市民参加推進課	・自治会加入世帯数が減少している中でも、地域との関わり方は多様化していると思います。自治会加入率だけでは見えない地域参加の実態や、住民同士のつながりについてどのように把握されていますか。また、若い世代の参加を促すため、今後どのような新たな取組を検討されていますか。 ・評価理由欄の記述を、「自治会加入世帯数は前年度比で1,686世帯減少してしまったものの、自治会加入促進事業は計画通り実施できたため」と修正していただきたい。	
3	22	1-1-10	各種体験教室や学習講座の実施	中央公民館	現状値より低い目標値を設定しているため、8年度は目標値の修正を検討してください。	
4	27	1-2-2	市民協働推進事業	市民参加推進課	現状値より低い目標値を設定しているため、8年度は目標値の修正を検討してください。	
5	31	1-2-6	ふれあい大学・大学院の運営	高齢者支援課	7年度の目標値（6,090人）の根拠について教えてください。	
6	34	1-2-9	意思疎通支援事業	障がい者支援課	手話通訳者等の派遣件数は目標に届いていませんでしたが、必要な人が使えているかという利用者のニーズや通訳者不足の要因についてどのように分析されていますか。また、必要な方が必要な時に支援を受けられる体制づくりに向けて、今後どのような改善を考えていますか。	
7	38	1-2-13	地域とのふれあい	保育課	地域子育て支援拠点事業は春日部市にどのくらいあるのか？また、各拠点事業での取り組み状況（延べ利用者数）は何人ぐらいか？さらに、各拠点事業へ移行を果たし、将来的には「地域とのふれあい事業」は廃止となるのか？	
8	44	1-3-1	介護支援ボランティアポイント事業	介護保険課	令和7年度の介護支援ボランティア登録者数は498人とあるが、このうちボランティア受け入れ施設で実際にボランティアに入った方は何人か？また、受け入れ可能施設が113あるので、ボランティアが入った施設と入らなかった施設といった差は生じなかったのか？	
9	46	1-3-3	春日部市フレイルサポーター養成講座	介護保険課	受講者数だけでなく、講座修了後に地域で活動を継続されている割合や、介護予防や健康寿命延伸への効果について把握されていますか？また、今後、活動者を増やすだけでなく、継続して活動できる仕組みづくりについても、どのようなお考えをお持ちかお聞かせください。	

N O	頁	事業コード	事業名	担当課	質問内容	メモ
10	51	1-3-8	支え合い担い手養成講座	社会福祉協議会	講座受講後に、実際に地域活動へ参加し、継続して活動されている方の状況は把握していますか？また、学びを地域の支え合い活動へつなげるため、今後どのような工夫を考えていますか？	
11	63	2-1-2	地域子育て支援拠点事業	保育課	利用者数だけでなく、子育て家庭の孤立防止や、保護者同士を含めた地域とのつながりづくりという点で、どのような成果が見られていると考えていますか？また、支援を必要としながら利用につながっていない家庭へのアプローチについてお聞かせください。	
12	64	2-1-3	ふれあい・いきいきサロン活動の支援	社会福祉協議会	サロン活動は参加人数だけでは測れない効果が大きい事業です。継続して参加されている方や参加機会が減少した方について、その変化や要因は把握されていますか？また、参加した方の孤立感の軽減や地域とのつながりづくりなど、市民生活の変化について把握されていることがあれば教えてください。	
13	72	2-2-7	住民懇談会（しゃべる場）の実施	社会福祉協議会	・住民懇談会で出された地域課題や意見について、その後どのように地域活動や施策につながったか把握されていますか？具体的な事例がありましたら教えてください。また、市民の声を地域づくりにつなげるための工夫があれば教えてください。 ・7年度の実績値（60ヵ所）が現状値（25ヵ所）より35ヵ所増えた理由について教えてください。	
14	73	2-2-8	地域における児童支援体制の充実	こども育成課	7年度の実績値（7）が現状値（15）で8減少しているため、協力団体への周知方法等、見直しを検討していただきたい。	
15	80	2-3-6	認知症地域支援推進員の配置	介護保険課	令和7年度実績値に2,122件とあり、毎月1件は新規の相談を各センターが受け入れていることに、ニーズの強さを感じた。相談件数が多いが、各センターの人手は足りているのか？	
16	81	2-3-7	訪問収集事業	リサイクル衛生課	対象世帯が17世帯と限られていて、評価手法とその理由に「対象者に適正な援助が成された事により評価を行う」とあるので、A評価となるのは順当であると思うが、高齢者のみの世帯が増えていることを考えると、潜在的なニーズはもっと多いと思うので、その点について担当課の意見をお伺いしたい。	
17	82	2-3-8	見守り・声かけ活動の実施	社会福祉協議会	見守り活動では活動件数だけでなく、高齢者の安心感や、早期の相談支援・必要な支援につながる事が重要だと思います。事業の成果をどのような視点で把握されていますか？また、今後さらに地域全体へ活動を広げるための工夫についてお聞かせください。	
18	87	3-1-4	こころの健康相談	健康課	6年度のシートでは実績値に「臨床心理士による相談を毎月実施」と記載されていた。7年度の相談頻度について教えていただきたい。	

N O	頁	事業コード	事業名	担当課	質問内容	メモ
19	104	3-1-21	障害者相談支援事業	障がい者支援課	・評価理由欄に「昨年度の相談数が多く、目標値を大幅に上方修正したが、大幅増となっていたが、今年は一昨年の状態に戻ったため」とあるが、なぜそうなったのか理由について教えていただきたい。 ・相談件数だけでなく、相談後に必要な福祉サービスや医療機関、就労支援、地域とのつながりなどにつながった割合や、本人・ご家族の不安軽減につながった状況について把握されていますか？また、相談しづらい方への支援や、利用しづらさなどの課題があれば、今後どのように改善していく予定ですか？	
20	106	3-1-23	地域移行支援	障がい者支援課	施設や病院から退所退院した精神障害者の人数及び、退所退院した人のうち地域生活での移行支援を希望する人（ご家族含む）の人数を教えてください。	
21	116	3-2-4	生活保護世帯就労支援事業	生活支援課	令和7年度の就労相談件数は1,319件であるが、このうち支援を継続して就労につながったのは何件か？また、就労につながった件数で評価するのではなく、相談件数で評価するのはなぜか理由を教えてください。	
22	153	4-3-6	避難行動要支援者への支援	危機管理防災課	避難行動要支援者名簿はどのように活用されているのか？プライバシーや個人情報保護に配慮は必要だが、地域の自主防災訓練などでこの名簿を活用しないと、実際に災害が起きた時に活用されないのではないか？	
23	162	4-4-1	居宅改善整備費の補助	高齢者支援課	予算を用意するだけで評価Aとした理由について教えてください。	
24	165	4-4-4	住宅改修費の助成	障がい者支援課	住宅改修費の助成申請はなかったのか。	
25	167	4-4-6	市営住宅における居住空間の整備の推進	建築課	質的評価事業への変更について検討をお願いしたい。	